

ライフサポートハウス エールニ之宮  
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画	ご本人やご家族に接点を持ち、関係性が築けるよう担当者会議に現場の職員も同席ができるようにする。アセスメント用紙に情報を、より詳しく記載し、非常勤職員を含め全職員が情報をしっかりと把握できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	支援開始の聞き取りに関しては前回同様、管理者と計画作成担当者が行う事がほとんどだが、そこで得た情報を居宅サービス計画書や個別支援計画書に反映し、支援が行えている。ご利用者の個別ファイルや、議事録のファイルを作成し、確認をした職員はサインをすることにより情報共有が行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8	1		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9			9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	7			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人や、ご家族にニーズについては、計画作成担当者が作成した各計画書で確認ができている。その他、職員会議でも関わり方や介助方法等の話し合いを行えている。会議に出席できなかった職員は議事録を確認する事により、職員の統一した関わりが行えている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 個別ファイルを作成しているが、更新されていないことがある。一度、個別ファイルを確認すると再確認する事が少なく、更新されていても内容が把握できていない事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 個別ファイルの内容に変更等ある場合、赤ペンで訂正し計画作成担当者に報告を行う事で更新をする。更新が済んだら申し送りノートに記載し、確認をした職員はサインをすることにより情報共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	人	人	9人

前回の改善計画	職員個々がご利用者からの希望や訴えをしっかりと聞こうという姿勢をとり、出てきた内容を計画作成担当者と協力しケアプランに反映させていく。ケアの内容について変更等の意見がある場合、都度ミーティングの時間を作り、具体的な援助方法まで決め対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者からの希望や訴えがある際、計画作成担当者に報告し、職員全体で考えた内容をケアプランに反映する事ができている。ケアの内容についても同様に行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	3		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	3		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	2		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月 1 回のモニタリングを実施し、継続、変更、中止等の意見交換をすることや、職員会議での話し合いにより職員全体で、ご利用者の目標が実現できるよう努める事ができた。ケアプランを確認しながら日々の関わりを持つ事ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者との関わりの中で自立支援について感覚が薄い職員もおり、できる事でも支援をしてしまう状況が見受けられた。ケアプランにある目標に注目し新たにご利用者からの希望を聞き出そうとする姿勢が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご利用者のできる事、できない事、介助が必要な事を明確化し自立支援に努める。日々の業務に追われる事を言い訳にせず、しっかりとご利用者に耳を傾け、今を大切にしたい支援を心がける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年3月16日 (19:30~21:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	4人	人	9人

前回の改善計画	生活歴や今現在の生活の様子までしっかりと記入し、職員に共有することで、これまでの暮らしの継続に繋げる。職員の能力の差については、自立支援等の研修を行い、スキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	個別ファイルを作成し、職員がいつでも確認できるよう整備を行い、情報共有を行う事ができた。職員の能力の差については、施設内研修を充実し開催する他、リーダーを中心に指導を行い能力の向上に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	6		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	4	2		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	3	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7	1		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者の身体状態の合わせた介助を行う事ができている。日々の生活の中で、それぞれの考えや、こだわりに寄り添い、その人らしさを大切にしている事ができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 生活歴について、まだ情報が十分ではない方もおり、ご家族やご本人に聞き取りを行い、情報共有する必要がある。職員会議等で発言する職員、しない職員の差があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 生活歴については、足りない内容を職員に確認後ご家族やご本人聞き取りを行い、情報を個別ファイルに記載し職員に周知する。職員会議で誰でも発言ができる雰囲気を作ると共に個別で意見の聞き取りも行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	4人	人	9人

前回の改善計画	ご家族やご本人に地域との関係性を詳しく聞き取りを行い、施設でどのような支援方法があるか再度確認や変更を行う。地域の資源について情報を収集し職員へ共有、理解を深めると共にご利用者の暮らしに必要な場合は協力をお願いします。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人と地域の関係性について聞き取りは徐々に行っているも、馴染みの場所等へ外出する事まではできていないが、馴染みの場所や職業の話を織り交ぜ関わりを持つ事ができている。地域資源については施設内研修を行い、職員の知識向上を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	4		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	6		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	5		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	7	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者の生活スタイルや性格、拘りについては日中の関わりの中でご本人に伺うと共に、ご家族への聞き取りも行えており支援できている。地域資源について研修を行う事ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源について施設内での研修を行ったが、全職員がしっかりと把握できていない状況で、ご利用者に必要な地域資源についての意見があまりなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
来年度も地域資源についての研修を継続し行い、ご利用者に必要な地域資源を職員で話し合い、協力をお願いします。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	6人	人	9人

前回の改善計画	地域資源の把握と活用を行う。施設周辺の行事だけではなく、ご利用者の自宅周辺の行事に参加できるように努めていく。ご家族のニーズが優先され過ぎないように、ご本人のニーズもしっかりと聞き取りを行い、支援方法を決めていく。ご本人の変化については、良い変化、悪い変化、両方記録に残し共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源について施設内研修を行い職員の知識向上を図った。ご利用者の自宅周辺の行事には情報収集が難しく参加する事ができていない。通い、訪問、泊まりの調整はご家族、ご本人と話し合いを行い、決めていくが、一部ご家族のニーズが優先されている。記録については、良い、悪い、両方の変化を記録する事ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	7		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	3	3		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	4	2		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	4	1	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々状態変化については申し送りノートや ipad を活用し情報共有が行えている。職員会議の議事録を事務所保管の物とは別にステーションに保管し、欠席した職員が確認したらサインを書く事により、内容を周知、徹底している。笛吹社協と協力し日常生活自立支援事業を活用し支援を行えた。民生委員とも協力し支援が行えた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源について施設内研修を行ったが、活用されているご利用者が少ない。訪問についてのニーズが少なく通い、宿泊が多くなっている。日々の関わりの中で職員に気づきの差を感じる。月一回の職員会議に出席ができなかった職員に対し、議事録等で内容は確認してもらっているが、意見を聞く時間をしっかりと持てていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源を利用しご利用者にどの様な支援ができるか再度確認し支援に繋げる。通所、訪問、宿泊については、ご家族やご本人に話をし、ご家族だけの意向に偏らないよう気をつけながら、在宅生活ができるように努める。職員に個別で意見の聞き取りの時間を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	3人	9人

前回の改善計画	各会議には、管理者や計画作成担当者だけでなく現場職員も参加できるようにする。施設が行う大きな行事以外に、地域の方が気軽に来所していただけるようなイベントを考え発信し、施設に来て頂く努力をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	各会議については、管理者や計画作成担当者以外も少しずつではあるが参加しているも全職員ではない。施設のパンフレットを地域の薬局や公民館に置いて頂いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	5	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			4	5	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	4	3	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3	3	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関、訪問看護、福祉用具等の事業者との会議は管理者、計画作成担当者が出席をし、得た情報を他職員に共有している。地域の保育園児やボランティアの来訪もあり、ご利用者も喜んで頂いている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
施設側からの情報発信がまだ少なく、ボランティアや敬老会等で招く事をしなければ、地域住民が来訪される事はほぼ無く、何の建物なのかも知らない方もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ボランティア等の来訪は継続しお願いをする。地域の方々に施設の存在を知って頂く為にチラシの配布を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

7. 運営

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	6人	2人	9人

前回の改善計画	地域住民との関わりを多くするため、気軽に立ち寄れる場所にするには、どうしたらいいかを考え、実行する。(介護予防教室等)
前回の改善計画に対する取組み結果	施設から発信の介護予防教室はできていないが、施設のチラシを作成し区長の協力の基、組に回覧して頂いた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		5	3	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	3		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	4	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			7	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者のご家族から頂いた苦情は、迅速に対応し、苦情第三者委員会等で運営状況を伝えている。地域の防災訓練に参加したり、消防署の協力の基、避難訓練を実施する事ができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の皆さんとの関わりが、まで十分でないため本音が聞けていない。地域と協働した取組みについても不十分だと思う。会議の場で一部の職員が意見を言えない様子があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域住民の方々が集まる場所で介護相談会等を計画し、施設の事や職員の顔を知ってもらい、関係性を築く。
---------------	--



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	人	9人

前回の改善計画	個別面談を行い、職員が何の研修を受けたいかの聞き取り、施設内研修の内容に反映させる。施設外研修についても職員本人からの希望を待つのではなく、事業所から声をかけて行く。ヒヤリ・ハットや事故報告があった時、申し送りノートにも記載をして確認した職員はサインを書く事で周知、徹底していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	年度始めに個別面談を行い、個々の目標や受けたい研修の聞き取りを行い、研修に反映した。施設外の研修も事務方から声を掛け参加する機会を増やしたが、全職員が研修に行く事はできていない。事故報告書、ヒヤリ・ハットの周知は行なえているが、改善方法の徹底ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	2	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	2	2	9
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	3		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設外の研修については、事務所から声を掛け昨年度より参加できる機会が増えており施設外研修後、施設内で振り返り研修を行っている。施設内研修は年度始めに予定を決め実行することができており、参加率も良い。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全職員が施設外の研修や地域連絡会に参加することができていない。新たに資格取得のため試験や研修を受けた職員が少なかった。ヒヤリ・ハットや事故報告書の確認はできているも改善方法について全職員へ情報伝達がスムーズ行えていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
施設外研修については今年度参加できなかった職員を優先的に検討して行く。年度始めに行う個別面談で取得したい資格や技術について聞き取りを行い、サポートをする。ヒヤリ・ハットの改善方法については、記録の確認と申し送りの徹底を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 16 日 (19 : 30～21 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 一之瀬・北野・小山内・関澤  
高野・滝澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	人	人	9人

前回の改善計画	成年後見制度について研修を行い、知識の共有、底上げを図る。ご利用者のケア等の話はフロアで話はせず に別に時間と場所を設け、ご利用者様に聞こえないような配慮をする。身体拘束、得にスピーチロックにつ いて重点的に研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度やスピーチロックについて施設内研修を行い職員の知識向上を図った。ご利用者の中で成年後 見制度をご利用された方もおり、ご本人やご家族の支援が行えた。フロアでご利用者のケア等の話をする際 は、インシヤルで情報共有をする、又は場所を変え対応しているも、徹底はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2			9
②	虐待は行われていない	7	2			9
③	プライバシーが守られている	5	4			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	5	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	4			9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待、個人情報保護について、成年後見制度について研修を行い知識向上に努めることができた。 入浴時、個別で対応が行えておりプライバシーを守る事ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度の研修を行ったが、まだ理解できていない職員もいた。職員同士のご利用者に関する話をする 際、以前に比べ周りに配慮ができるようになってきているが、徹底までには至らない。フロアにて、ご利用者 の排泄等についての話をしている、プライバシーに欠けると思われる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
成年後見制度の研修を来年度も行い職員の知識向上を図る。申し送りや介助、支援方法についての話はフロ アではなく場所を変えて行う事の徹底が行えていないので、再度確認徹底行う。職員同士でしっかりと注意 し合う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光珠福祉会	代表者	荻野 健	法人・ 事業所 の特徴	昭和50年5月に養護老人ホーム光珠荘を事業開始し、平成24年3月地域密着型特別養護老人ホームとショートステイを開所。平成27年4月居宅介護支援事業所を開所。平成28年3月に小規模多機能型居宅介護ライフサポートハウスエール二之宮を開所する。法人理念は「敬愛と尊厳」。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「通い」を中心に「泊まり」、「訪問」の3つを組み合わせ、切れ目のないサービスで安心を届けます。
事業所名	ライフサポートハウス エール二之宮	管理者	一之瀬 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価で決めた改善計画をもとにしっかりと対応を行う。</li> <li>今後も常に課題を持ち、実践と修正を繰り返し行いながら、広い視野で客観的に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画をもとに業務を行っていたが、全てが計画通り進んだとは言えない。特に地域との関係を築く部分の取組みが行えていない。</li> <li>年度始めに職員面談を行い、目標や課題を明確にすることで、スキルアップに繋げる事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との関係性はとても重要なことだと思うので、しっかりと取り組んでもらいたい。</li> <li>個別面談はしっかりと職員一人一人と向き合い話ができる時間なので良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価で取り組みの浅い部分（地域との関係性）が明確化されたので、改善し、より良い事業所運営に繋げる。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者との展示物作成は今後も継続し、来客された方にも季節を感じていただけるよう環境整備を行う。</li> <li>ボランティアの来訪時などにおいて、地域の方々へ参加を呼びかけ来所していただくなど地域との関係性を築けるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型の物から細かい物の季節に合った展示物を作成し、機能訓練も兼ねて行う事ができている。</li> <li>ボランティアに来て頂く事は実施できているが、地域の方々へ来所の呼びかけは、できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した展示物を施設内だけに展示するのではなく、二之宮区公民館祭りで展示スペースを確保することが可能だと思うので、展示してみても良いのではないかと。</li> <li>ボランティアに関わらず地域の方々気軽に来所してもらえよう施設になってもらいたい。ご利用者のご家族にボランティアの依頼をしてもいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽に誰でも立ち寄れる雰囲気のできるよう、これからもしつらえや、環境整備は継続し行っていく。</li> <li>従来のボランティアは継続し来所の依頼をすると共にご利用者のご家族にもボランティアの依頼を試みる。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や接遇は、施設内外の研修等で改善を図る。</li> <li>事業所の存在や機能を知っていただくためのイベント等を探</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や接遇の研修は定期的に行うと共に、リーダーを中心に日々の業務の中で指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接遇の研修はとても良いので継続し行ってほしい。</li> <li>公民館祭りや、各種イベントの時に施設の案内や相談できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が開催するイベント（秋祭り等）の際、地域の方々へチラシを配るなど、地域の方々へ呼びかけを行う。</li> </ul>

	<p>討・開催し、地域の方々との関わりを増やす。</p>	<p>・事業所を知って頂くため、区長協力のもと、チラシを組へ回覧して頂くことができたが、イベント等の開催は行うことができていない。</p>	<p>スペースを作る働きかけをしても良いのではないかと。</p>	<p>・地域で開催されるイベントで、可能であれば施設案内や相談できるスペースを設け、多くの方に事業所を知ってもらえるように努める。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・地域のお祭りだけでなく、運動会や清掃作業などの機会に積極的に参加する。 ・運営推進会議でいただく貴重なご意見等を事業所内にて検討し改善につなげることで、地域と良好な関係が築けるよう努める。</p>	<p>・施設周辺のお祭りには参加できているが、ご利用者の住まい地域で行われているイベントに参加することができていない。 ・頂いたご意見は、職員会議で話し合い、検討・共有を図った。</p>	<p>・施設周辺のイベントに参加するのも大変だと思うが、ご利用者の住まい地域のイベントにも頑張って参加して欲しい。 ・地域との関わりがとても重要になると思うので良い関係づくりをしてもらいたい。</p>	<p>・ご利用者に必要な地域資源や機関の情報収集をし、必要に応じて提案を行う。 ・事業所が考えた外出レクだけではなく、ご利用者が行きたい場所等の聞き取りを行い、個別での外出レクを増やす。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・現在は運営推進会議の資料や議事録を事業所正面玄関に回覧用ファイルとして設置しているが、より目につく場所です手に取りやすいように工夫する。表記の仕方についても、出された意見や検討・改善の流れ等がわかりやすいように考慮する。</p>	<p>・運営推進会議の議事録は正面玄関に専用の箱を用意し、どなたでも回覧できるように整備を行った。</p>	<p>・運営推進会議の議事録や資料を回覧するように変更したとことで良いと思う。 ・これからも運営推進会議で出た課題や改善点にしっかりと取り組んでももらいたい。</p>	<p>・運営推進会議で出た意見に対し全職員に情報共有を行い、課題については改善計画を考え実行する。 ・正面玄関の回覧用議事録の更新をしっかりと行う。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・今後も避難訓練(防災訓練)は、消防本部や地域の消防団と合同で年に2回以上の割合で実施する。その際は、ご家族や地域へも呼びかけ可能な限りご参加いただく。</p>	<p>・消防本部、消防団の協力の基去年度も避難訓練を実施することができているが、ご家族の参加の呼びかけが行えていなかった。施設地域の避難訓練では地域の方々と一緒に取り組むことができた。</p>	<p>・区と災害協定を結んでおり、地域の一時避難所になっていることで地域と良い関係が築けていると思う。消防団とも定期的に避難訓練や防災訓練を行っているということで、継続してもらいたい。</p>	<p>・全職員、地震や火災等に備え、マニュアルの再確認をする。 ・避難訓練(防災訓練)は継続し行い、多くの職員に参加できるように調整すると共に、ご家族への呼びかけも行う。</p>